

福津防災 備えあれば 憂いなし!

もしも突然の集中豪雨に襲われたら・・・もしも大きな地震が起きたら・・・あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

令和6年度宗像地区 消防出初め式を開催します

新春恒例の行事である、消防出初め式を開催します。式典では、消防団による小隊訓練やクワイヤチャイムの演奏を予定しています。また、子どもが楽しめるはしご車試乗体験や消防ポンプ車展示などのアトラクション、数量限定で豚汁の振る舞いもあります。ぜひご参加ください。

日時 令和6年1月8日(月・祝) 午前9時40分～正午
場所 道の駅むなかた第3駐車場



▲昨年度の宗像地区消防出初め式で整列する福津市消防団

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107

消費生活相談

このコーナーでは悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 不安をおおる点検商法に注意!

訪問してきた業者に「無料で給湯器を点検します」と言われ、古い給湯器を使っていたので依頼しました。使い続けるのは危険だと言われて新しい給湯器を契約してしまいました。解約できますか。

アドバイス その場ですぐに契約しない!

「無料で点検」を口実に訪問し、点検後に不安をおおる、新たに製品を購入させる手口です。給湯器以外にも屋根や床下、排水管、浄水器などの点検もあります。

問題なく使えているのであれば急ぐ必要はありません。「特別に値引きする」などと言葉巧みに契約を迫られても、すぐに契約するのは避けましょう。数社から見積りを取り、検討してからでも遅くはありません。また、契約しても8日以内であればクーリング・オフができます。

問い合わせ 市消費生活相談窓口 ☎43・8106 (毎週月曜・水曜・金曜日の午前9時～午後4時)
※県消費生活センター ☎092・632・0999 でも、随時相談を受け付けています



▲たんぽぽこども園でフードドライブを行う宮木さん

最近では神興東地域郷づくり交流センターや津屋崎千軒民俗館藍の家、たんぽぽこども園など、さまざまな人たちと共にフードドライブにも取り組んでいます。「活動を通じて、いろいろな人たちとの新たなつながりやアイデアが生まれた。しかし、コロナ禍が落ち着いた現在でも困っている家庭がたくさんあります。」

みんなで取り組もう 幸せのまちづくり

このコーナーでは、持続可能で、誰もが幸せなまちづくりの実現に役立つ情報を掲載しています。

問い合わせ 市地域コミュニティ課 ☎62・5017



どの子も健やかに育つ地域へ

令和5年度「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金(※)」に採択された「どの子も凸凹プロジェクト実行委員会」代表の宮木裕子さんに、取り組みについて話を聞きました。

どの子も凸凹プロジェクト実行委員会は、市内で子育て支援をしている人たちが集まって立ち上げた団体です。コロナ禍をきっかけに食の支援を必要とする声が増えて世帯の中で増えたことから、月に1回程度、食品を無料で提供する「元気の運び屋」ふくふくFOODs」を行っています。

(※)人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金とは

地域医療等振興自治宝くじの収益金を財源とし、高齢社会対策大綱などの実現のための事業に対し、公益財団法人地域社会振興財団が交付金を交付。

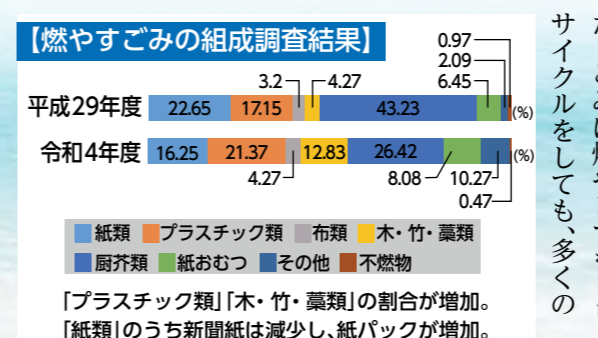
どの子も凸凹プロジェクト実行委員会は、今後も子育て世帯の生活の不安を軽く、どの子も健やかに育つための活動を続けていきます。活動に関する詳しい情報は、市公式ホームページをご覧ください。



▲ストップした焼却炉から出てきた金属類

燃やすごみの袋に金属は入れられません。金属類の混入によって焼却炉がストップする事案が毎年起きています。不燃物は燃やすごみの袋には入れられない。燃やすごみの袋に金属類の混入は、焼却炉のトラブルの原因になります。スリムな金属類は、分別ごみへ分別ステーションで、回収できる状態になるよう洗浄などにご協力ください。

火災ごみの処理手数料減免について
万が一、火災で被災し、家屋などから発生した家庭ごみを古賀清掃工場などに搬入するときは、申請によって処理手数料などを減免することができます。詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



「プラスチック類」「木・竹・藁類」の割合が増加。「紙類」のうち新聞紙は減少し、紙バックが増加。

環境 掲示板

ごみの減量に 取り組みましょう
令和4年度に燃やすごみの組成調査を行いました。ごみは燃やしても、リサイクルをしても、多くのエネルギーと資金がかかります。ごみを減らすことは、地球にも私たちの財布にも優しい取り組みです。

①リデュース(発生回避)
ごみになるものは断る。過剰包装は断る。マイボトルなどを利用する。「安いから」「流行っているから」と安易に物を購入せず、本当に必要か考えてから購入する。

②リデュース(排出抑制)
ごみを減らすこと。使い捨てのカトラリーやレジ袋は必要な分だけに。詰め替え製品の利用や、個包装の商品は避けるなど、商品を選択する。料理は食べ

市ではSDGsの考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます。このコーナーでは、市民の皆さんの生活に身近な、ごみや動物、環境に関するお知らせをします。

問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019